

平成25年度 日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業
(海外展開の事業性評価に向けた調査事業)

UAE(シャルジャ首長国)における
日本式医療サービス調査事業 報告書

平成26年2月

医療法人いつき会

目 次

目 次	1
第1章 本調査の概要	3
1-1. 調査の背景と目的	3
1) 背景	3
2) 目的	3
1-2. 調査項目	4
1) 調査項目	4
2) 調査方法	4
3) 具体的成果物	4
4) 調査スケジュール	4
1-3. 調査実施体制	5
第2章 対象国・地域の概要	6
2-1. UAE（シャルジャ首長国）に関する基本情報	6
1) 人口構成	6
2) 所得水準	6
2-2. UAE（シャルジャ首長国）の医療	7
1) 医療ニーズ・疾病構造	7
2) 透析サービスの供給状況	8
2-3. 関連制度・規制	8
1) 外資規制	8
2) 医療機関設立に関する制度・規制	9
3) 医療従事者に関する制度・規制	9
第3章 調査結果	10
3-1. 現地医療機関へのインタビュー	10
1) インタビュー対象	10
2) インタビュー結果	11
3-2. 現地企業へのインタビュー	11
1) インタビュー対象	11
2) インタビュー結果	12
3-3. 現地政府系機関へのインタビュー	12
1) インタビュー対象	12
2) インタビュー結果	12
3-4. 日本式医療サービスを実現する際の課題・対応	13
1) 生活様式、習慣、医療への考え方	13
2) 医療水準	13
3) 医療機関受診から報酬請求、医療機関側への入金までの流れと仕組み	13
4) 上記を踏まえた、病院設立時の課題・留意点	14
第4章 現地機関との提携準備	15
4-1. 法人制度/商慣習の特徴	15
4-2. パートナー企業との面談	15

1) 実施期間.....	15
2) 協議内容.....	15
3) 協議結果.....	15
4－3．契約条項案のリーガルチェック.....	17
4－4．提携に必要な準備と、提携をする際の課題・対応.....	17
第5章 インフラ整備状況の確認.....	18
5－1．病院設立予定地の確認.....	18
1) 水質、インフラ、ライフラインの確認.....	18
2) 確認方法.....	18
3) 結果・今後の課題.....	18
第6章 UAE（シャルジャ首長国）での医療機関設立に向けた検討.....	20
6－1．本事業の展開可能性.....	20
1) 事業スキーム.....	20
2) 日本式医療サービス利用の想定顧客層.....	21
3) 事業収支の見通し.....	23
4) 今後の事業スケジュール.....	32

第1章 本調査の概要

1-1. 調査の背景と目的

1) 背景

アラブ首長国連邦（United Arab Emirates : UAE）は7つの首長国、アブダビ首長国、ドバイ首長国、シャルジャ首長国、ラスアルカイマ首長国、アルアイン首長国、アジュマン首長国、フジャイラ首長国からなり、国内の総人口は約459万人であるが、自国民ローカルといわれる人口は全体の約20%にすぎず、人口の80%が諸外国からの労働者などで構成されている。

ローカル（純粋な自国民）は従って90万人強で、自国民は国から手厚い支援援助を受けている。

例えば自国民同志の結婚であれば国の結婚基金からの高額な祝い金が支給され、その他教育・医療も全額補償されている。中でも医療においては、UAE国内に病院がいくつかある中、自国民が信頼を寄せているところは少なく、殆どの自国民は海外（アメリカ・ヨーロッパ・シンガポール・タイなど）に治療に行っているのが現状である。

これらの医療費は海外での治療も含め全て国が負担する。海外での医療費とは、患者1名とその家族2名までの渡航費（航空券は空きがあればファーストクラスから搭乗となる）、滞在費、医療費、そして1週間単位で現地での生活費などの諸経費に充当できる費用が支給されている。自国民の総人口は全体の20%強とは言え、これだけの出費は国費またシェイク（王族）のポケットマネーなどからまかなわれており、多大な支出となっているのが現状である。従って、これらの出費を軽減させるため、また安定した医療をUAE国内で提供するためにも、UAEとしてしかるべき（信頼できる）医療機関をつくり人間ドック（健康診断）等を行うことでの的確に診断し、適正な治療をする事が急務な課題となっている。

国民の中には糖尿病を患っている人も多く、その併発となる様々な症状であったり、癌などの治療を望んでいる。治療とはいえ、高齢であったり重い病を患っている人にとって不慣れた土地である海外での治療自体に多大な負荷がかかっていることが現実である。

このような背景の中、ドバイにて最大手の財閥企業であるパートナー法人の支援協力によって、日本の信頼できる医療技術をUAEにて展開できる特別措置（特区）としての医療法人いつき会の病院プロジェクトが立ち上がりました。

2) 目的

UAEには、各国の病院が既に展開をしている中、いずれも医療費の問題や診療レベル、クオリティを日本医療と比較すると、改善の余地が十分あると考えた。

健康保険制度がなく、基本的には自由診療となる中、自国民の医療費優遇、それ以外も保険会社から医療費が支払われており、そのような背景から医療費の高騰が避けられない状況が現在も続いている。

このようなUAEの医療事情を踏まえ、医療法人いつき会は日本の医療（人工透析を含む）をそのまま現地に取り入れることにより、適正適切な診療や治療を目指し、身体が悪くなってから病院へ通うのではなく、まずは食生活の改善、運動（リハビリ）など予防医療を訴え、糖尿病予備軍が背後に多く見られることもあり、病気になる前に気軽に安心して受診できる環境を整える事を目的としている。

更に医療法人いつき会では、マイナスからゼロへ戻す医療ではなく、マイナスからプラスの医療とアンチエイジングをUAEにおいて展開を検討している。

1-2. 調査項目

1)調査項目

- ・UAE の医療状況（医療水準、医療ニーズ、医療制度）
- ・現地の国民生活情報（医療ニーズ、食習慣、運動習慣、医療機関受診意識、所得水準）
- ・透析医療の状況（運営施設数及びベッド数、透析医療水準、水等のインフラ状況、機器メンテナンス状況）

2)調査方法

- ・日本式クリニックを UAE 医療モールで実際に行っている医療機関を訪問し、インタビューを行う。
- ・日本大使館医務官を訪問し、インタビューを行う。
- ・代表的医療機関等を視察する。
- ・国際協力銀行現地駐在所、透析機器メーカーであるニプロ現地法人を訪問し、インタビューを行う。
- 【日本式医療サービス設立予定地、入居予定地でのインフラ整備状況の確認】
- ・候補物件の現地を確認し、水、電気、医療機器の使用における問題点を把握する。
- 【現地機関との提携準備】
- ・パートナー候補先との面談を行う。
- ・弁護士等による現地契約条項案などのリーガルチェックや翻訳を行う。
- 【報告書の作成】
- ・上記結果を基に報告書を作成する。

3)具体的成果物

- ・事業報告書及び、提携先との契約条項案

4)調査スケジュール

実施項目	平成 25 年					平成 26 年	
	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
(1)現地医療事情の調査		→	→				
(2)インフラ整備状況確認		→	→				
(3)現地機関との提携準備				→		→	→
(4)報告書の作成					→	→	→

上記業務を自ら実施すると同時に、外部協力団体（外注先含む）に対して以下の業務を外注し、モデル事業全体を取りまとめる。なお状況に応じて相互に協力し全体として本事業を進める。

1-3. 調査実施体制

関係事業者	① 現地医療 事情の調査				② インフラ整備 状況の確認	③ 現地機関との提 携準備		④ 報告書の作成
	日本式クリニッ クの視察と面談	日本大使館の訪 問	現地代表的な医 療機関の視察	現地駐在所等へ のヒアリング調査	候補物件の確認	現地ビジネスパ ートナーとの面談	契約内容等の翻 訳とチェック	
医療法人いつき会	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
(外注先) 弁護士事務所							◎	
(外注先) 通訳及び現地コーディネーター	○	○	○	○	○	○		

◎ ; 主担当 ○ ; 担当

第2章 対象国・地域の概要

2-1. UAE(シャルジャ首長国)に関する基本情報

1)人口構成

UAE 国内の総人口は約 459 万人。そのうち、建設予定地のシャルジャ首長国人口は約 90 万人である。

図表・1 シャルジャ Emirate of Sharjah 



出所) ウィキペディア (Wikipedia)

2)所得水準

UAE 一人当たりの GDP は、日本の約 38,000 ドルを大きく上回る 55,000 ドルとなっているが（いずれも 2008 年、国際通貨基金）、高額所得者から出稼ぎ労働者まで貧富の差は大きい。

その中で消費をリードする層としてまず挙げられるのは、医療・教育が無料、住宅も安価で購入できるなど、手厚い福祉政策の恩恵を受け、消費意欲が旺盛な自国民である。これに主に欧米先進国出身の外国人と、アラブ系や単アジア系を含むエグゼクティブ層を加えたグループが、富裕層を形成している。

シャルジャ首長国はアブダビ、ドバイに比べマンション密集しており、ベッドタウンとなっている。シャルジャはペルシャ湾に臨み、主要な行政機関や商業施設が集積している一方で、いくつかの美術館を含む文化施設の開発事業が続々と進行している。

自国民が多く住んでいることで、高所得者が密集している地域でもある。

現在、オフィスビル、高速道路などの建設が急速に進んでおり、将来人口は飛躍的に増え、更なる高所得水準となることも予想される。

2-2. UAE(シャルジャ酋長国)の医療

1)医療ニーズ・疾病構造

外気温が非常に高いため運動習慣がほとんどなく、食生活も甘いものや油の多いものを中心となっていることから、内科を中心とした医療、疾患予防のニーズが高いと考えられる。

特に糖尿病、高血圧などからなる腎疾患患者に関しては専門医が少なく、ニーズは高い。

図表・2 糖尿病罹患率 (2012 年、2013 年)

Rank	Country (2013)	%	Country (2012)	%
1	Tokelau	37.49	Fed. States of Micronesia	37.2
2	Fed. States of Mirconesia	35.03	Nauru	30.1
3	Marshall Islands	34.89	Marshall Islands	27.1
4	Kiribati	28.77	Kiribati	25.5
5	Cook Islands	25.66	Tuvalu	24.8
6	Vanuatu	23.97	Kuwait	23.9
7	Saudi Arabia	23.87	Saudi Arabia	23.4
8	Nauru	23.29	Qatar	23.3
9	Kuwait	23.09	Bahrain	22.4
10	Qatar	22.87	Vanuatu	22
11	French Polynesia	22.41	UAE	18.87
12	Bahrain	21.84	Lebanon	17.04
13	New Caledonia	19.49	Egypt	16.62
14	Guam	19.48	Guyana	16.08
15	UAE	18.98	Reunion	16.01

出所) 国際糖尿病連合資料

IIR ミドルイーストによると、湾岸協力会議 (GCC) 諸国のヘルスケア市場は、2011 年の 180 億ドルから 2020 年までに 550 億ドル規模に拡大すると期待されている。

食事量の多さや運動不足などにより、湾岸地域では生活習慣病が大きな問題となっている。

特に糖尿病罹患率の高さは深刻で、国際糖尿病連合によると、UAE の糖尿病罹患率は 18.98% である。その他の GCC 各国もサウジ (16.8%)、バーレーン (15.4%)、カタール (15.4%)、クウェート (14.6%)、オマーン (13.4%) と、米国 (10.3%)、日本 (5.0%)、英国 (3.6%) をそれぞれ大きく上回る。

UAE 医療支出の状況は、下図表のとおりである。2000 年から 2007 年にかけて、対 GDP 比は低下しているが、政府支出全体における医療支出の割合は 7.6% から 8.9% とやや増加している。また、民間部門の割合が増加しており、1 人当たり医療費も増加傾向にある。

図表・3 UAE の医療支出状況

	2000 年	2007 年
医療費の対 GDP 比 (%)	3.2	2.7
医療費における政府支出 (%)	76.6	70.5
医療費における民間支出 (%)	23.4	29.5
政府医療支出の対歳出比 (%)	7.6	8.9
1 人当り医療費 (US ドル平均レート)	699	1,253
1 人当り医療費 (購買力平価 US ドル)	805	982
1 人当り政府医療費 (US ドル平均レート)	536	883
1 人当り政府医療費 (購買力平価 US ドル)	616	693

出所) 世界保健機関 (WHO) World Health Statistics 2010

2) 透析サービスの供給状況

医療従事者、病床数は下図表のとおりで、1 万人当たり医師数は世界平均 (14 人) とほぼ同数だが、同病床数は世界平均 (27 床) を大きく下回っており、医療施設の絶対数が不足していることを示している。

図表・4 医療従業者、病床数

	人数	1 万人当り
医師	6,946	15
看護師および助産師	13,936	46
歯科医師	1,368	4
薬剤師	2,006	7
病床数 (1 万人当り)	-	19

出所) 世界保健機関 (WHO) World Health Statistics 2010

図表・5 ドバイとアブダビの医療機関数と病床数 (2009 年) ¹

		ドバイ			アブダビ		
		病院	クリニック・医療センター	病床 (割合%)	病院	クリニック・医療センター	病床 (割合%)
公共部門	連邦	2	9	227 (7)	-	-	-
	首長国	3	16	1,501 (47)	12	65	2,439 (72)
	軍関連	-	-	-	2	-	388 (11)
民間部門		20	639	1,487 (46)	25	507	581 (17)
合計		25	664	3,215	39	572	3,408

出所) Dubai Statistics - Health: Characteristics of Medical Sector (2009)

2-3. 関連制度・規制

1) 外資規制

1984 年連邦法 No.8 (事業会社法) に基づき、UAE で設立可能な会社形態且つ外国企業の設立形態として、Limited Liability Company (LLC、有限責任会社) を選択した。また、資本構成は、UAE 資本 51% 以上、外国資本 49% 以下であることが定められている。

¹ (1) 歯科クリニックを除く (2) ドバイ・ヘルスケア・シティの病院を含む (3) 2008 年のデータ (4) アブダビの首長国が管轄する公共部門の病院は SEHA (Abu Dhabi Health Services Company) が運営

LLC を選択した理由は以下のとおり。

①有限責任制

- ・出資者責任の範囲は、出資した金額以上は負わなくて良いこと。

②内部自治原則に加えて、定款により自由な組織設計が出来る

- ・LLC は組織設計が定款で自由に決められるので、取決め等を自由に決定出来る。

③共同事業性が高い

- ・「出資の目的およびその価格又は評価の基準」が定款の絶対的記載事項である為、出資が金銭とは限らず人的な評価を基準として出資額とすることも可能となり、組織の結束力が高まる。

2)医療機関設立に関する制度・規制

医療機関のような専門的機関に限り、外国人でも設立できるが、UAE 国民のスポンサーは必要で、かつ様々な政府認可が必要となる。

UAE の医療機関設立制度は、クリニック、病院、総合病院の 3 タイプに分かれており、それぞれ病床数や入院期間などの規制が設けられている。その中でも、今回設立を予定している総合病院では、病床数の制限がなく、入院期間にも規制がない。そのため幅広いニーズに対応でき、長期療養が必要な患者の受入も可能となる。

3)医療従事者に関する制度・規制

本来の規制によると、外国人医師による医療行為は、通常アメリカの医師免許が必要となる。

今回はパートナー法人の協力により、日本の医師免許による医療行為（通訳必要）、日本で使用されている医薬品（厚労省認可済の薬品）の使用、日本で使用されている医療機器の利用を認める特例措置が適用されることとなった。ただし、医師は UAE 政府関係者の面接を受けてから現地での医療行為を開始すること、運営時には通訳を設置することが必要である。

第3章 調査結果

3-1. 現地医療機関へのインタビュー

1)インタビュー対象

(1)BurjeelHospital (アブダビ)

内科、整形外科を中心とした総合病院。アブダビ市内で展開している Lifeline グループの中核病院。2012 年 4 月にオープンしたばかりで機器も新しく、豪華な仕様となっている。64 列の CT と 3.0 テスラの MRI を装備している。VIP ルームを設け、プレミアムヘルスケア・ソリューションを提供している。

インタビューは、Managing Director 、Chief、Cirector に対して行った。

図表・6 BurjeelHospital 中庭風景、透析病棟視察風景



図表・7 VIP ルーム病棟リビング、VIP ルーム病棟ベッド



(2)Al Qassimi Hospital(シャルジャ)

シャルジャ首長国で最大の政府病院で、連邦保健省傘下の最大の病院。入院ベッド数は 362 床で、職員数は外部委託（312 人）を含め 1099 人。

内科医を対象にインタビューを行った。

図表・8 Al Qassimi Hospital 外観透析室、Al Qassimi Hospital 男女別病棟



(3) さくらクリニック(ドバイ)

ドバイやその周辺に滞在している日本人向けのクリニック。内科、歯科を中心としている。入院設備はない。

インタビューはクリニックマネージャー、内科医学博士を対象に行なった。

2) インタビュー結果

日本透析医学会の資料をもとに、Al Qassimi Hospital のドクターに現状をインタビューした結果、次のことが分かった。

※下図、世界の透析事情参照

透析患者数は 100 万人に対して 220 人である。

外国人患者が多いため、既往歴が明確でないことから透析の早期導入が難しい現状がある。シャルジャ地区は、住民の中での UAE 国民の割合が高いため、医療施設には富裕層向け特別室（VIP ルーム）が必要である。

UAE 国民以外は、個人もしくは会社で保険加入が義務付けられており、契約している保険会社の取り扱い病院で受診することになる。医療機関としては、なるべく多くの保険会社との提携が不可欠となる。

図表・9 世界の透析事情

	日本(2012 末)	USA(2011)	EU(2011)	UAE
人数	309,946 人	615,899 人	240,611 人	1,200 人
100 万人当り	2,430 人	1,901 人	950 人	220 人

出所) 日本: 日本透析医学会 (わが国の慢性透析治療の現状 2012 年 12 月 31 日現在)

USA: 2013 USRDS ANNUAL DATA REPORT

欧州: ERA-DATA Registry Annual Report 2011

UAE: フレゼニウス社調査

3-2. 現地企業へのインタビュー

1) インタビュー対象

・パートナー法人

CEO、President、Office Manager

- ・国際協力銀行(JBIC)

Chief Representative、Representative

- ・NIPRO MIDDLE EAST FZE. (ニプロ現地法人)

Managing Director

2)インタビュー結果

(1)パートナー法人

EXPO2020 の開催が決定し、アブダビ～ドバイ～北部首長国を結ぶ長距離鉄道も計画中ということもあり、地価が高騰していることが分かった。特に、アブダビ、ドバイに関しては急激に高騰している。

物価に関しては、一般の生活必需品に関しては日本より安い傾向だが、贅沢品に関しては日本より高額で販売されている。特に UAE 国民に関しては、質の高いものへの出費を厭わない傾向が見受けられる。

(2)国際協力銀行(JBIC)

JBIC からの融資を受ける場合には、基本的条件として、融資額全体の 4 割が民間融資で賄われることが決定している必要がある。残り 6 割程度を JBIC が補完的に融資する形態となる。

(3)NIPRO MIDDLE EAST FZE.(ニプロ現地法人)

ニプロ社といつき会は日本国内でも取引関係にある。ニプロ社内では、ニプロ社の日本人スタッフと現地法人担当者が連携していることから、当法人の UAE における病院設立の際にも協力頂けることとなった。また、ニプロ社は既に UAE においてダイアライザー（血液透析装置）の導入実績があるほか、現地の医療情報にも詳しいため、今後も協力体制を維持していく。

3-3. 現地政府系機関へのインタビュー

1)インタビュー対象

- ・在アラブ首長国連邦日本大使館 大使
- ・在アラブ首長国連邦日本大使館 医務官
- ・在アラブ首長国連邦日本大使館 一等書記官

2)インタビュー結果

現在の UAE の医療サービス水準および UAE 国民の受診状況について、下記のことが判明した。

- ・耳鼻科の単純な MRI で 20 万円前後の請求事例があったり、胃透視検査を正確に行える医療機関が少なく、上部消化管の内視鏡検査にも高額な費用がかかったりするなど、基本的な検査を正確に行える医療機関が少ない。
- ・国内よりも良い医療サービスを求めて海外（ヨーロッパや東南アジア）へ、治療もしくは健康診断（人間ドック）へ行く人が多い。
- ・主にイギリスの最高級の病院、マレーシア、タイ（バンコク）・シンガポール・韓国（ソウル）へ出向く傾向がよく見受けられる。
- ・その理由には、自国より高い医療技術を受けられること、ハラール（イスラム法で許され

た食事)の専門店が多く存在することが挙げられる。

また、設立予定である日本式医療サービスに期待することとして、次の点が挙げられた。

- ・法的に規定された企業健診を受けられるよう、企業及び職員を対象にサービス提供することで、日本式医療サービスへの需要も価値も高まると見られる。
- ・その理由の一つには、「UAEにおける企業の健診」については、企業には職員に健診を受けさせる義務があり、法律でも規定されていることが挙げられる。また、就労ビザの更新のために、感染症(HB、場合によってはHIV)の検査が義務付けられている。さらに、職種に応じて様々な健診が規定されており、各々の検査項目が定められている。
- ・他の理由には、上記のような検査を正確に行うことのできる医療機関を、現状のUAE国内で見つけづらいことが挙げられる。
- ・日本式医療の導入により、UAEの医療のあり方に変化を齎すとともに、日本機器メーカーの海外発展にも今後大きな影響を及ぼす可能性を秘めている。
- ・日本とアラブの友好的な関係にも貢献すると思われる。

3-4. 日本式医療サービスを実現する際の課題・対応

1)生活様式、習慣、医療への考え方

宗教(イスラム教)が、UAE国民の日々の生活に大きな影響を及ぼしている。食生活を含め、個人の宗教や信条を遵守する傾向が強い。外気温が高い地域であるため、運動習慣がない。定期的な受診習慣がないため、病気になってしばらくして病状が悪化してから医療機関に受診に訪れる傾向にある。

また、イスラム教では原則として、女性は親族以外の男性に触れられてはならないとする規定を持つ。このため女性患者に対する医療行為は、女性の医療従事者が行えるよう、職員を確保する必要がある。また、女性患者が男性と接触する可能性を低減させるために、処置室を男女別に設置する必要がある。

2)医療水準

UAEでも日本と同様に、公立(連邦立及び各首長国立)の病院と私立病院のいずれも存在する。公立病院、私立病院のいずれにおいても医療水準は低くない。私立病院にも、クリニックから総合病院まで存在する。また公立病院の設備は充実しており、高度な手術も可能となっている。病院によっては、医療保険に加入していない患者の診療を拒否する場合もある。

ただし、日本と比較して医療機関および医師の水準が均一かつ高度ではないため、細かい配慮がなされていなかったり、医療機関側が患者の希望をあまり聞かなかったりする問題も発生しているようである。

また日本と比較して、インフォームドコンセントが普及していない。

3)医療機関受診から報酬請求、医療機関側への入金までの流れと仕組み

2006年より医療保険の導入が始まり、労働者は雇用者などが被保険者となり医療保険に加入することが必要となった。これにより、2006年以前は患者が自己負担100%で受診していた私立病院も、医療保険を利用して低い自己負担額で受診できるようになった。

また同時に、UAE保健省は、健康保険制度をUAE全土で導入することを目指している。目

指しているシステムは、UAE の全居住者に健康保険への加入を義務付け、UAE 内ならどこでも保険による医療サービスを受けられるようにするものである。

2008 年 5 月からはアブダビ国民全員を対象とした健康保険に拡大した。この健康保険は、マン（Daman: 国民健康保険会社）の「ティカ（Thiqa）・プログラム」を通じて、アブダビ政府が提供するもので、ティカ・カードの保持者は公共部門の医療機関および登録された民間の医療機関でサービスを受けられる。このプログラムの加入者数は、UAE 国民だけでも 58 万人を超えている（2011 年時点）。

ドバイも 2008 年 5 月に DHA（ドバイ保健局）と保険会社 Neuron の提携により健康保険制度「エナヤ（Enaya）」を導入した。これは公務員とその家族に健康保険を提供するもので、公務員なら外国人居住者も対象となり民間の医療機関でも治療を受けられる。ただし民間の施設では治療費の 20%、医薬品費の 20%、歯科治療費の 30%を負担する。公共の医療機関については従来通り無料だが、公務員でも外国人居住者とその家族については小額（20 ディルハム）を支払わなければならない。ドバイ政府は、この制度を全居住者へ拡大することを計画している。

4) 上記を踏まえた、病院設立時の課題・留意点

建築に関しては宗教などに配慮する必要がある。例えば、患者の性別により動線を分けるなど、イスラム教の規定を守るための施設・設備とすることが挙げられる。

日本式医療とそのサービスを提供するためには、各部署に日本人スタッフの配置が必要である。

また、より多くの患者を受け入れ可能とするためにも、いくつかの保険会社との提携が必要となる。

第4章 現地機関との提携準備

4-1. 法人制度/商慣習の特徴

首長国の建国より43年と短く、自国民（ローカル）は、家族や親族を非常に大切にしている。家族・親族同士で法人を組織することが多く、法人規模が発展しても、家族・親族以外への企業情報の公開を避ける傾向がある。また、UAEの国内では法人税制度がないため（一部を除く）、対外的に企業情報を開示する必要にも迫られていない。これらのことから、企業規模を含め、基本的な情報であっても、パートナー法人について把握することは、本事業においても非常に難しかった。

4-2. パートナー企業との面談

1) 実施期間

平成25年9月～平成25年10月

2) 協議内容

- ・病院運営内容の詳細と建設予定地や特区に関する協議
- ・MOU締結に関しての協議
- ・LLC設立へ向けての協議

3) 協議結果

原則として、医療法人いつき会がスタッフの派遣を含む医療事業運営を担当し、パートナー法人は建物・設備の整備と患者集客を担当することで合意し、提携を進めることとなった。

- ・MOU締結（連携協定。別添資料参照）

- ・日本の医師免許による医療行為（特別措置）

日本政府より発行された医師免許と、日本の厚生労働省から発行された医薬業務を行う免許を所持する日本人医師に対して、医薬業務を行うための免許を登録し与えることに、アラブ首長国連邦の保健省から異議なし、ということパートナー法人に確認した。ただし、日本のアラブ首長国連邦大使館とアラブ首長国連邦の外務省、アラブ首長国連邦の法律により、免許や学位が法的に立証されることを条件とすることもパートナー法人に確認した。

- ・日本の医薬品の使用登録（特別措置）

日本の医薬品を、アラブ首長国連邦で使用可能な医薬品のリストに記載するため、パートナー法人が保険省への申請もほぼ全般行う。

- ・パートナー法人による患者送迎

パートナー法人は、取引先である軍や地方公務員、その他企業と結びつきが強いため、健康診断や人間ドックなどの受診者を、設立する医療機関に紹介する。

また、パートナー法人と協議の上、シャルジャ市内に総合病院（有限責任会社LLC）を設けることとし、その名称を「JAPAN HOSPITAL LLC」とした。

図表・10 Trade Name ライセンス

GOVERNMENT OF SHARJAH
 Economic Development Department

حكومة الشارقة
 دائرة التنمية الاقتصادية

الإسم التجاري
Trade Name

Limited Liability Company (有限会社)

Trade Name Details (商標詳細)
Trade Name Details (نفاصيل الإسم التجاري)
Professional (専門家)

Issue Date: License No.: 708042
 Expiry Date: License type: مهنية
 Trade Name: **JAPAN HOSPITAL LLC** Legal status: شركة ذات مسؤولية محدودة

رقم الرخصة: 708042
 نوع الرخصة: مهنية
 الشكل القانوني: شركة ذات مسؤولية محدودة

مستشفى اليابان ذ م م

License Members **أطراف الرخصة**

الصفة Type	رقم الهوية / الجواز ID/Passport No.	الجنسية Nationality	إسم المستثمر Investor Name	رقم المستثمر Investor No.
شريك شريك	784198069419387	الإمارات		6207
	TH9163232	اليابان		4732393
	UAE			
	JAPAN			

Partner (合同、合併)
 مستشفى عام
 أنشطة الرخصة

General Hospital (総合病院)
License Activities (ライセンス活動)

2013/10/29
 37116

تاريخ الطباعة
 رقم المستند

هذه الوثيقة رسمية ولا تحتاج لحكم أو توقيع والتأكد من صحة البيانات يرجى زيارة الموقع www.sedd.ae
 This Document is official. It doesn't need to be stamped or signed. To view license detail visit www.sedd.ae

4－3. 契約条項案のリーガルチェック

数回に渡り、委託先の法律事務所による MOU 契約条項のチェックを実施した。現地の法律に基づき、パートナー法人同席のもと出資比率、利益配分、運営に関するアドバイスなど、弁護士からの指示を受けた。これを踏まえ、協議・訂正を行い、適正な条件で合意した後、MOU を締結した。

4－4. 提携に必要な準備と、提携をする際の課題・対応

現在日本では、医療法人による海外現地法人への出資が認められていない。そのため、国内の MS 法人から現地マネージメント会社（UAE 内のフリーゾーンに設置予定。日本国内 MS 法人出資比率が 100%の法人。）へ出資し、さらに、現地で日本式医療サービスを提供する主体である LLC へ出資を行う必要があると考えている。

ただし、2013 年に 11 月 12 日厚生労働省は医療法人の海外出資の容認を検討していることを明らかにしている。国内の業務に支障がなく、海外で適正に治療できることを条件として、出資規制についての検討会を設置し、近々結論を出す見通しとなっている。この議論の結果を踏まえ、出資の方法については再度検討することを想定している。

第5章 インフラ整備状況の確認

5-1. 病院設立予定地の確認

1) 水質、インフラ、ライフラインの確認

現在 UAE の透析治療では、個別透析治療が行われている。個別透析治療では、治療機器は透析ベッド1台に対して1台である。これらの設定や水質管理を一括して行えないため、機器毎の調整が必要となり、複数の患者への対応が難しい。そのため設立予定の病院においては、日本式医療の一つとして、セントラル（総合制御）治療を用いたいと考えている。総合的に水質、機器等を管理することで、安定した質の高い透析医療を多くの患者に提供していく予定である。また、我々が日本での透析治療に導入しているオンライン HDF を現地で導入したいと考えている。オンライン HDF のメリットとして次の点が挙げられる。

- ・患者の予後を改善させる。患者の延命を図ることができる。
- ・心臓への負担が少なく、血圧の低い方に有効である。
- ・腎臓にもやさしいため、尿が出る期間を延長させることができる。
- ・炎症マーカーの低下に寄与し、酸化ストレスが改善する。
- ・貧血が改善する。
- ・栄養状態が良くなる

ただし、オンライン HDF では、厳重な透析液の水質管理が保たれた水のみ、透析液の補充液に使用することができる。通常、透析液は細菌の成分であるエンドトキシンという物質で汚染されているが、オンライン HDF を行うには、細菌やエンドトキシンを測定感度以下になるまで清浄化しなければならない。

このため、通常、エンドトキシンを防ぐエンドトキシン捕捉フィルターという機器を取り付けて対応するが、根本的には透析液を作る段階からの清浄化が必要となる。

これらのことから、水質により使用する機器を選定する必要性が生じるため、ニプロの協力の下、水質調査を行った。

2) 確認方法

現地医療機関にて治療用に使用されている水道水 500 ミリリットルを採取し、日本国内のニプロにて分析を行った。

図表・11 透析用貯水タンク、透析用濾過装置



3) 結果・今後の課題

採取した水は飲料水として使用可能であることは判明したが、採取量が少なく簡易調査に留まったため、詳細な水質調査が必要となった。

第6章 UAE(シャルジャ酋長国)での医療機関設立に向けた検討

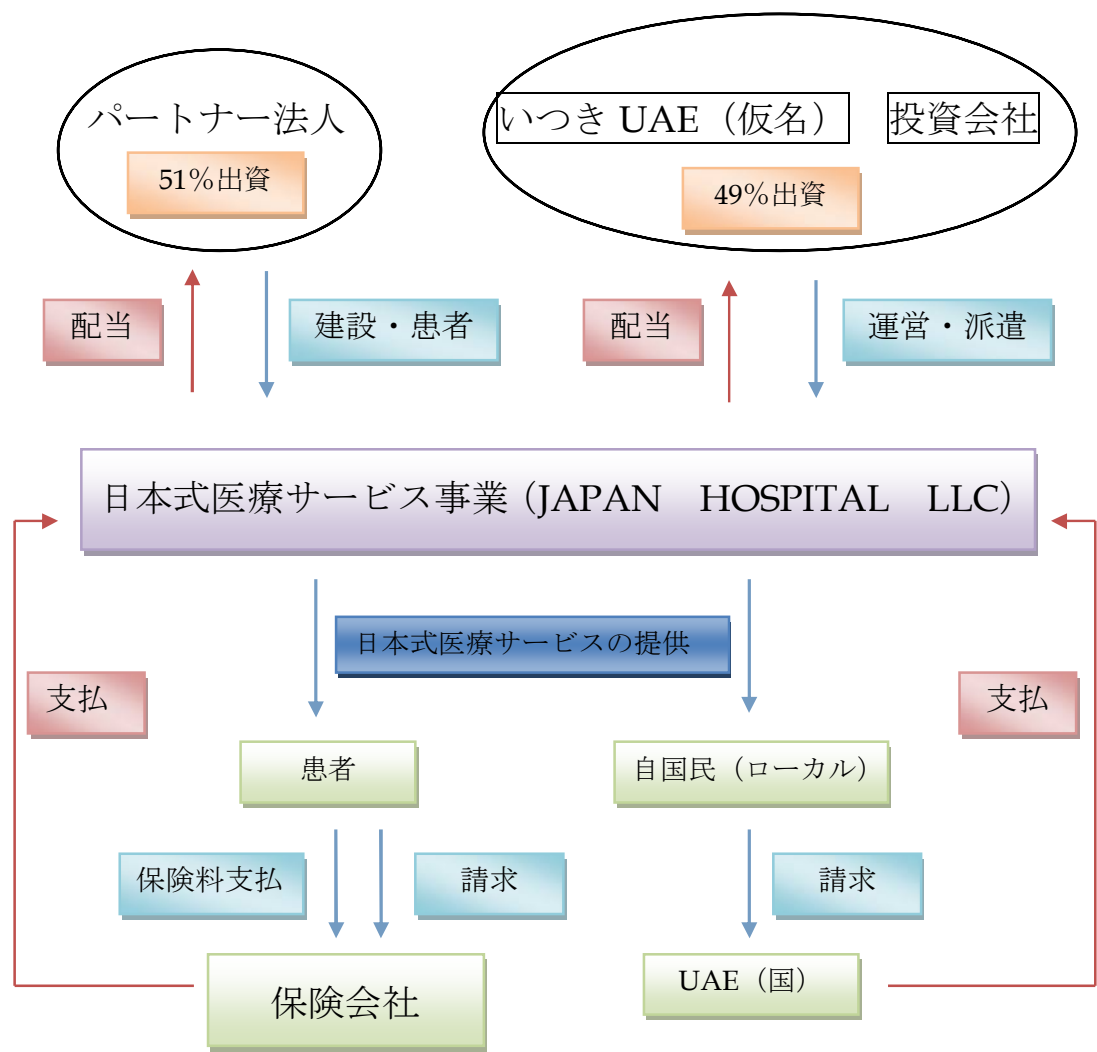
6-1. 本事業の展開可能性

1)事業スキーム

当法人の子会社を UAE 国内に設立し、当該企業からの出資比率 49%、パートナー法人からの出資比率を 51%とする LLC (JAPAN HOSPITAL LLC) を設立する。当該 LLC より、自国民を中心とする患者に対し、日本式医療サービスを提供する。

なお、診療収入は自国民の場合は UAE 政府より、自国民および国外からの受診患者については患者の加入する保険会社から支払いを受けることを想定している。

図表・12 事業スキーム



2)日本式医療サービス利用の想定顧客層

なお、パートナー法人は政府及び軍とのネットワークを持つため、設立を予定している医療施設では、シャルジャ、ドバイの労働者と自国民の集客を見込んでいる。

図表・13 職業別、国籍別の雇用者－ ドバイ首長国(2011 年)

国籍	職業別雇用者数（人）				
	合計	国防軍	熟練農業従事者、漁業労働者	単純労働	工芸品従業者
アラブ首長国連邦	52,783	5,404	54	178	132
アラブ湾岸諸国	314	26	-	-	-
その他アラブ諸国	75,280	-	933	8,190	6,021
アジア諸国	1,152,366	-	5,271	170,492	361,307
アフリカ諸国	23,125	-	-	2,591	197
ヨーロッパ諸国	16,951	-	-	-	-
北米	3,524	-	-	-	-
中央アメリカ&カリブ諸国	381	-	-	-	-
南アメリカ諸国	379	-	-	-	-
太平洋諸島国(オーストラリア、ニュージーランド等)	846	-	-	-	-
上記計	1,325,949	5,430	6,258	181,451	367,657

国籍	職業別雇用者数（つづき）（人）					
	工場作業員	サービス業販売員	事務職員	技術者	専門家	議員、上級職員
アラブ首長国連邦	168	6,601	10,756	15,377	9,891	4,222
アラブ湾岸諸国	-	-	78	12	64	134
その他アラブ諸国	5,118	5,961	4,632	11,858	25,446	7,121
アジア諸国	175,206	119,361	56,903	93,337	120,918	49,571
アフリカ諸国	103	17,404	230	1,214	552	834
ヨーロッパ諸国	-	487	809	3,644	6,341	5,670
北米	-	-	-	944	1,467	1,113
中央アメリカ&カリブ諸国	-	-	-	-	-	381
南アメリカ諸国	-	-	-	379	-	-
太平洋諸島国(オーストラリア、ニュージーランド等)	-	-	-	135	500	211
上記計	180,595	149,814	73,408	126,900	165,179	69,257

出所) ドバイ統計センター - 労働人口統計 2008

図表・14 参考：政府&国防軍就業人口

首長国	統計人口 (1000)	15歳～ 64歳人口 の割合 (%)	15歳～ 64歳人口	15歳以上の 就業人口 割合 (%)	15歳以上の人口	連邦政府 (%)	地方政府 (%)	国防軍 (%)	連邦政府	地方政府	国防軍
	(A)	(B)	(C) =(A) × (B)	(D)	(E)=(C) × (D)	(F)	(G)	(H)	(I)=(E) × (F)	(I)=(E) × (G)	(I)=(E) × (H)
アブダビ	1628	73.5	1,197	69.9	836	8.5	15.3	2.9	70,922	127,996	24,345
ドバイ	1722	80.0	1,377	73.5	1,013	2.3	21.5	0.5	23,516	217,382	5,506
シャールジャ	1017	73.2	745	66.2	493	6.4	10.3	1.7	31,796	50,989	8,402
アジュマーン	250	71.1	178	66.8	119	9.1	9.3	1.6	10,795	11,036	1,935
ウンム・アル＝ カイワイン	56	70.7	40	59.5	24	18.1	14.0	2.7	4,260	3,295	645
ラアス・アル＝ ハイマ	241	72.0	174	64.2	111	21.3	6.8	7.7	23,748	7,536	8,607
フジャイラ	152	69.2	105	64.2	68	22.7	5.8	9.4	15,363	3,898	6,351
合計	5066	74.8	3,815		2,663	7.4	15.1	2.3	180,400	422,132	55,791

出所) アラブ首長国連邦国家事務局、労働人口統計(2009)

3)事業収支の見通し

(1)売上計画

事業開始後 18 ヶ月で安定稼働となると想定し、これ以降の売上予定を下記に示す。

図表・15 売上予定

部門	月間売上 (円)	(年間売上) (円)	1 日 当 り 患 者 / 利 用 者 数 (人)	患者/利用者 単価 (入院のみ 1 日単価) (円)	月間営業日 数 (日)
外来 (内科)	33,000,000	396,000,000	30	50,000	22
外来 (整形外科)	11,000,000	132,000,000	10	50,000	22
透析外来	64,740,000	776,880,000	30	83,000	26
健診	22,440,000	269,280,000	15	68,000	22
入院	117,450,000	1,409,400,000	26	150,000	30
入院 (PET 検査含む 人間ドック)	48,750,000	585,000,000	5	325,000 ²	30
入院 (PET 検査なし 人間ドック)	36,000,000	432,000,000	12	100,000	30
その他 (レストラン等)	2,500,000	30,000,000	100	1,000	25
合計	335,880,000	4,030,560,000	-	-	-

² 人間ドックは、1 泊 2 日のコースを想定しているため、PET 検査を含む場合は 1 人当り単価を 650,000 円、含まない場合は 200,000 円と想定している。

(2)年間収支計画

事業開始後18ヶ月で安定稼働となると想定している。開設後3ヶ年の収支計画を下記に示す。

図表・16 平成27年収支計画

部門	1月	2月	3月	4月	5月
透析患者数	0	0	0	0	0
外来（内科）一日平均	0	0	0	0	0
外来（整形外科）一日平均	0	0	0	0	0
健診	0	0	0	0	0
入院	0	0	0	0	0
人間ドック（VIP）	0	0	0	0	0
人間ドック（1泊入院）	0	0	0	0	0
	1月	2月	3月	4月	5月
売上（合計）①	0	0	0	0	0
透析収入（1）	0	0	0	0	0
外来収入 内科（2）	0	0	0	0	0
外来収入 整形外科（3）	0	0	0	0	0
入院	0	0	0	0	0
人間ドック収入	0	0	0	0	0
人間ドック収入VIP	0	0	0	0	0
健診	0	0	0	0	0
レストラン売上	0	0	0	0	0
仕入（合計）②（1）～（4）×20%	0	0	0	0	0
売上総利益（①－②）＝③	0	0	0	0	0
販売費及管理費④	4,426	4,426	6,726	5,926	5,926
（合計）					
給料手当	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
福利厚生費	0	0	0	0	0
寮費	0	0	0	0	0
通信費	30	30	30	30	30
水道光熱費	0	0	0	0	0
旅費交通費（移動費・ビザ申請）	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
交際費	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	800	0	0
事務用品費	0	0	0	0	0
コピーカウンター	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0
新聞・書籍費	30	30	30	30	30
衛生管理費・管理諸費（リネン等）	0	0	0	0	0
修繕、メンテナンス	0	0	0	0	0
業務委託料（通訳、現地法律、会計労務等）	500	500	500	500	500
賄費（食事食材、管理等）	0	0	0	0	0
検査料	0	0	0	0	0
研修費	500	500	500	500	500
保険料	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	1,500	1,500	1,500
リース（3年）	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
支払い利息（4.5%）350,000千円	166	166	166	166	166
償却前利益・・・B	-4,426	-4,426	-6,726	-5,926	-5,926
減価償却費・・・A	0	0	0	0	0
償却後利益（B－A）⑤	-4,426	-4,426	-6,726	-5,926	-5,926

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位；千円
0	0	0	0	3	5	8	
0	0	0	0	15	20	25	
0	0	0	0	5	10	15	
0	0	0	0	10	10	10	
0	0	0	0	5	8	10	
0	0	0	0	2	2	2	
0	0	0	0	5	7	8	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
0	0	0	0	98,000	130,860	157,600	386,460
0	0	0	0	3,240	5,400	8,640	17,280
0	0	0	0	16,500	22,000	27,500	66,000
0	0	0	0	5,500	11,000	16,500	33,000
0	0	0	0	22,500	36,000	45,000	103,500
0	0	0	0	15,000	21,000	24,000	60,000
0	0	0	0	19,500	19,500	19,500	58,500
0	0	0	0	14,960	14,960	14,960	44,880
0	0	0	0	800	1,000	1,500	3,300
0	0	0	20,000	15,000	10,000	10,000	55,000
0	0	0	-20,000	83,000	120,860	147,600	331,460
6,726	15,872	49,572	111,472	135,982	134,752	135,282	617,088
1,200	6,500	35,000	74,300	74,300	74,300	74,300	345,900
0	0	0	0	500	500	500	1,500
0	1,000	2,200	3,000	4,000	4,000	4,000	18,200
30	30	30	30	80	150	200	700
0	0	2,000	3,500	4,000	3,500	4,000	17,000
2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	34,000
0	0	0	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000
0	0	0	800	800	800	800	3,200
800	0	0	800	0	0	0	2,400
0	0	0	1,000	1,000	500	500	3,000
0	0	0	200	200	200	200	800
0	0	0	3,000	2,000	800	800	6,600
30	30	30	30	200	150	150	770
0	0	0	2,500	2,500	2,500	2,500	10,000
0	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
500	500	500	1,000	1,500	1,500	1,500	9,500
0	0	0	5,000	7,000	7,000	7,000	26,000
0	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
500	3,000	3,000	500	500	500	500	11,000
0	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	15,000
0	0	0	0	21,600	21,600	21,600	64,800
0	0	0	0	0	1,000	1,000	2,000
166	1,312	1,312	1,312	1,302	1,252	1,232	8,718
-6,726	-15,872	-49,572	-131,472	-52,982	-13,892	12,318	-285,628
0	0	0	0	2,800	2,800	2,800	8,400
-6,726	-15,872	-49,572	-131,472	-55,782	-16,692	9,518	-294,028

図表・17 平成28年収支計画

部門	1月	2月	3月	4月	5月
透析患者数	11	14	17	20	23
外来（内科）一日平均	25	30	30	30	30
外来（整形外科）一日平均	10	10	10	10	10
健診	15	15	15	15	15
入院	15	18	21	25	26
人間ドック（入院）	9	10	10	12	12
人間ドック（入院VIP）	3	5	5	5	5
	1月	2月	3月	4月	5月
売上（合計）①	199,070	243,810	260,550	287,790	295,530
透析収入（1）	11,880	15,120	18,360	21,600	24,840
外来収入 内科（2）	27,500	33,000	33,000	33,000	33,000
外来収入 整形外科（3）	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
人間ドック収入	27,000	30,000	30,000	36,000	36,000
人間ドック収入VIP	29,250	48,750	48,750	48,750	48,750
健診	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440
入院	67,500	81,000	94,500	112,500	117,000
レストラン売上	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
仕入（合計）②（1）～（3）×30%	35,364	42,036	47,058	53,430	55,752
売上総利益（①－②）＝③	163,706	201,774	213,492	234,360	239,778
販売費及管理費④	142,950	142,175	141,650	143,825	143,300
（合計）					
給料手当	74,300	74,300	74,300	76,000	76,000
福利厚生費	500	500	500	500	500
寮費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
通信費	500	500	500	500	500
水道光熱費	3,500	4,000	3,500	4,000	3,500
旅費交通費（移動費・ビザ申請）	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
交際費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
燃料費	800	800	800	800	800
広告宣伝費	1,500	250	250	250	250
事務用品費	500	500	500	500	500
コピーカウンター	200	200	200	200	200
消耗品費	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
新聞・書籍費	150	150	150	150	150
衛生管理費・管理諸費（リネン等）	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
修繕費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
業務委託料（現地法律、労務等）	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
賄費（食事食材、管理等）	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
検査料	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
研修費	500	500	500	500	500
保険料	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
支払手数料	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
リース（3年）	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600
雑費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
支払い利息	1,200	1,175	1,150	1,125	1,100
償却前利益・・・B	20,756	59,599	71,842	90,535	96,478
減価償却費・・・A	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
償却後利益（B－A）⑤	18,356	57,199	69,442	88,135	94,078

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位；千円
27	30	33	36	39	42	45	
30	30	30	30	30	30	30	
10	10	10	10	10	10	10	
15	15	15	15	15	15	15	
26	26	26	26	26	26	26	
12	12	12	12	12	12	12	
5	5	5	5	5	5	5	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
299,850	303,090	306,330	309,570	312,810	316,050	319,290	3,453,740
29,160	32,400	35,640	38,880	42,120	45,360	48,600	363,960
33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	390,500
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	132,000
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	411,000
48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	565,500
22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	269,280
117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	1,291,500
2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	30,000
57,048	58,020	58,992	59,964	60,936	61,908	62,880	653,388
242,802	245,070	247,338	249,606	251,874	254,142	256,410	2,800,352
143,775	143,250	143,725	143,200	143,675	143,150	146,375	1,721,050
76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	76,000	906,900
500	500	500	500	500	500	500	6,000
5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	60,000
500	500	500	500	500	500	500	6,000
4,000	3,500	4,000	3,500	4,000	3,500	4,000	45,000
4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	48,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
800	800	800	800	800	800	800	9,600
250	250	250	250	250	250	3,000	7,000
500	500	500	500	500	500	500	6,000
200	200	200	200	200	200	200	2,400
1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	14,400
150	150	150	150	150	150	150	1,800
2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	30,000
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	42,000
7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	90,000
2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	30,000
500	500	500	500	500	500	500	6,000
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	18,000
21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	259,200
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
1,075	1,050	1,025	1,000	975	950	925	12,750
99,027	101,820	103,613	106,406	108,199	110,992	110,035	1,079,302
2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	28,800
96,627	99,420	101,213	104,006	105,799	108,592	107,635	1,050,502

図表・18 平成29年収支計画

部門	1月	2月	3月	4月	5月
透析患者数	48	51	54	57	60
外来（内科）一日平均	30	30	30	30	30
外来（整形外科）一日平均	10	10	10	10	10
健診	15	15	15	15	15
入院	26	26	26	26	26
人間ドック（入院）	12	12	12	12	12
人間ドック（入院VIP）	5	5	5	5	5
	1月	2月	3月	4月	5月
売上（合計）①	322,530	325,770	329,010	332,250	335,490
透析収入（1）	51,840	55,080	58,320	61,560	64,800
外来収入 内科（2）	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
外来収入 整形外科（3）	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
健診	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440
入院	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
人間ドック収入	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
人間ドック収入PET有	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750
レストラン売上	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
仕入（合計）②（1）～（4）×30%	63,852	64,824	65,796	66,768	67,740
売上総利益（①－②）＝③	258,678	260,946	263,214	265,482	267,750
販売費及管理費④	149,900	149,110	148,570	154,030	153,490
（合計）					
給料手当	80,000	80,000	80,000	85,000	85,000
福利厚生費	800	800	800	800	800
寮費	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
通信費	550	550	550	550	550
水道光熱費	3,500	4,000	3,500	4,000	3,500
旅費交通費（移動費・ビザ申請）	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
交際費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
燃料費	300	300	300	300	300
広告宣伝費	1,500	250	250	250	250
事務用品費	800	800	800	800	800
コピーカウンター	200	200	200	200	200
消耗品費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
新聞・書籍費	150	150	150	150	150
衛生管理費・管理諸費（リネン等）	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
修繕費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
業務委託料（現地法律、労務等）	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
賄費（食事食材、管理等）	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
検査料	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
研修費	500	500	500	500	500
保険料	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
支払手数料	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
リース（3年）	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600
雑費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
支払い利息	900	860	820	780	740
償却前利益・・・B	108,778	111,836	114,644	111,452	114,260
減価償却費・・・A	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
償却後利益（B－A）⑤	106,778	109,836	112,644	109,452	112,260

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位；千円
60	60	60	60	60	60	60	
30	30	30	30	30	30	30	
10	10	10	10	10	10	10	
15	15	15	15	15	15	15	
26	26	26	26	26	26	26	
12	12	12	12	12	12	12	
5	5	5	5	5	5	5	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
335,490	335,490	335,490	335,490	335,490	335,490	335,490	3,993,480
64,800	64,800	64,800	64,800	64,800	64,800	64,800	745,200
33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	396,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	132,000
22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	269,280
117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	1,404,000
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	432,000
48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	585,000
2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	30,000
67,740	67,740	67,740	67,740	67,740	67,740	67,740	803,160
267,750	267,750	267,750	267,750	267,750	267,750	267,750	3,190,320
153,950	153,410	153,870	153,330	153,790	153,250	156,460	1,833,160
85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000	1,005,000
800	800	800	800	800	800	800	9,600
6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	72,000
550	550	550	550	550	550	550	6,600
4,000	3,500	4,000	3,500	4,000	3,500	4,000	45,000
4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	48,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
300	300	300	300	300	300	300	3,600
250	250	250	250	250	250	3,000	7,000
800	800	800	800	800	800	800	9,600
200	200	200	200	200	200	200	2,400
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	12,000
150	150	150	150	150	150	150	1,800
2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	31,200
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	42,000
7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	90,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
500	500	500	500	500	500	500	6,000
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	18,000
21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	259,200
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
700	660	620	580	540	500	460	8,160
113,800	114,340	113,880	114,420	113,960	114,500	111,290	1,357,160
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
111,800	112,340	111,880	112,420	111,960	112,500	109,290	1,333,160

図表・19 平成30年収支計画

部門	1月	2月	3月	4月	5月
透析患者数	60	60	60	60	60
外来（内科）一日平均	30	30	30	30	30
外来（整形外科）一日平均	10	10	10	10	10
健診	15	15	15	15	15
入院	26	26	26	26	26
人間ドック（入院）	12	12	12	12	12
人間ドック（入院VIP）	5	5	5	5	5
	1月	2月	3月	4月	5月
売上（合計）①	335,490	335,490	335,490	335,490	335,490
透析収入（1）	64,800	64,800	64,800	64,800	64,800
外来収入 内科（2）	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
外来収入 整形外科（3）	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
健診	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440
入院	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000
人間ドック収入	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
人間ドック収入PET有	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750
レストラン売上	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
仕入（合計）②（1）～（4）×30%	32,640	32,640	32,640	32,640	32,640
売上総利益（①－②）＝③	302,850	302,850	302,850	302,850	302,850
販売費及管理費④	169,420	168,630	168,090	168,550	168,010
（合計）					
給料手当	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
福利厚生費	800	800	800	800	800
寮費	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
通信費	550	550	550	550	550
水道光熱費	3,500	4,000	3,500	4,000	3,500
旅費交通費（移動費・ビザ申請）	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
交際費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
燃料費	300	300	300	300	300
広告宣伝費	1,500	250	250	250	250
事務用品費	800	800	800	800	800
コピーカウンター	200	200	200	200	200
消耗品費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
新聞・書籍費	150	150	150	150	150
衛生管理費・管理諸費（リネン等）	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
修繕費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
業務委託料（現地法律、労務等）	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
賄費（食事食材、管理等）	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
検査料	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
研修費	500	500	500	500	500
保険料	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
支払手数料	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
リース（3年）	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600
雑費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
支払い利息	420	380	340	300	260
償却前利益・・・B	133,430	134,220	134,760	134,300	134,840
減価償却費・・・A	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
償却後利益（B－A）⑤	131,830	132,620	133,160	132,700	133,240

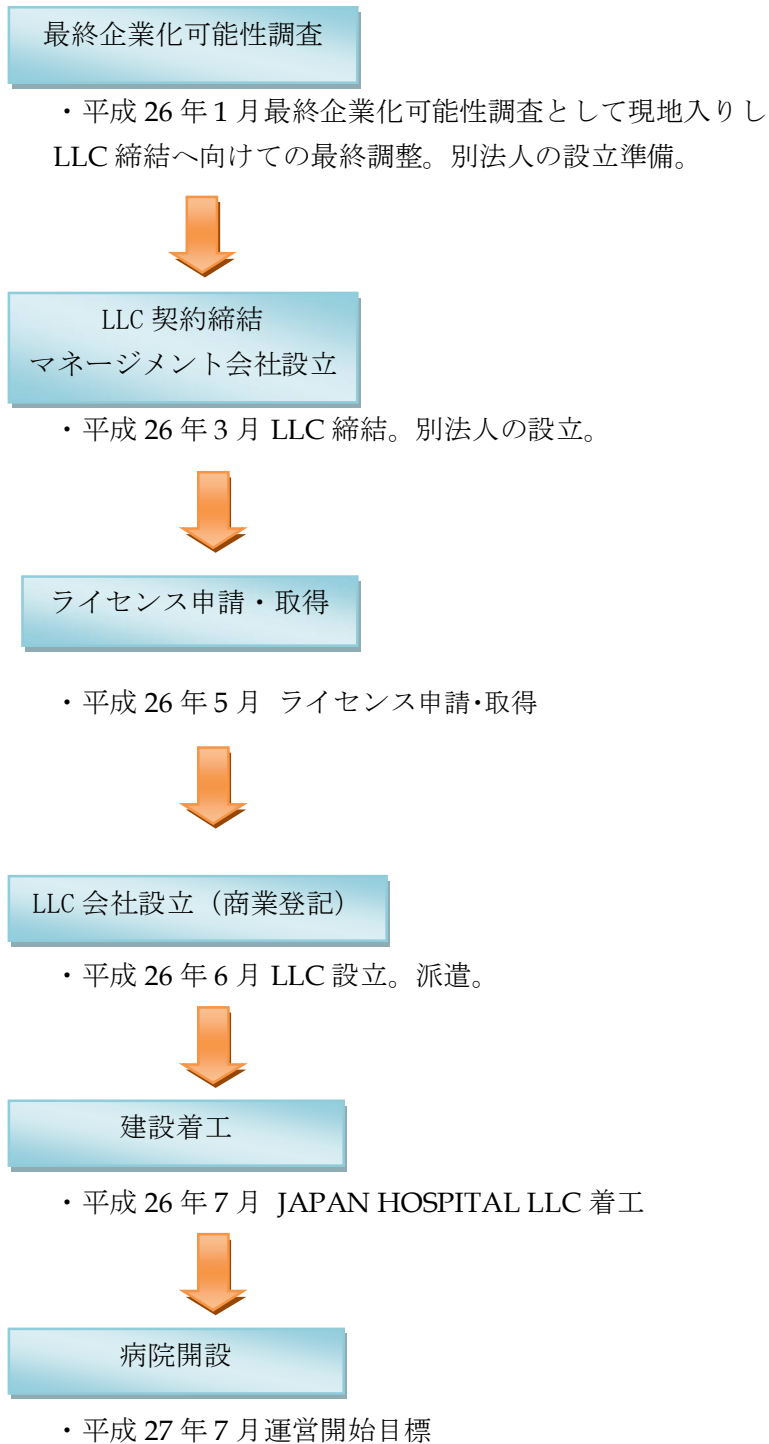
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	単位；千円
60	60	60	60	60	60	60	
30	30	30	30	30	30	30	
10	10	10	10	10	10	10	
15	15	15	15	15	15	15	
26	26	26	26	26	26	26	
12	12	12	12	12	12	12	
5	5	5	5	5	5	5	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
335,490	335,490	335,490	335,490	335,490	335,490	335,490	4,025,880
64,800	64,800	64,800	64,800	64,800	64,800	64,800	777,600
33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	396,000
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	132,000
22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	22,440	269,280
117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	117,000	1,404,000
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	432,000
48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	48,750	585,000
2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	30,000
32,640	32,640	32,640	32,640	32,640	32,640	32,640	391,680
302,850	302,850	302,850	302,850	302,850	302,850	302,850	3,634,200
168,470	167,930	168,250	167,750	168,250	146,150	149,400	1,978,900
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
800	800	800	800	800	800	800	9,600
6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	72,000
550	550	550	550	550	550	550	6,600
4,000	3,500	4,000	3,500	4,000	3,500	4,000	45,000
4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	48,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
300	300	300	300	300	300	300	3,600
250	250	250	250	250	250	3,000	7,000
800	800	800	800	800	800	800	9,600
200	200	200	200	200	200	200	2,400
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	12,000
150	150	150	150	150	150	150	1,800
2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	31,200
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	42,000
7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	90,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
500	500	500	500	500	500	500	6,000
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	24,000
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	18,000
21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	0	0	216,000
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000
220	180	0	0	0	0	0	2,100
134,380	134,920	134,600	135,100	134,600	156,700	153,450	1,655,300
1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	19,200
132,780	133,320	133,000	133,500	133,000	155,100	151,850	1,636,100

4)今後の事業スケジュール

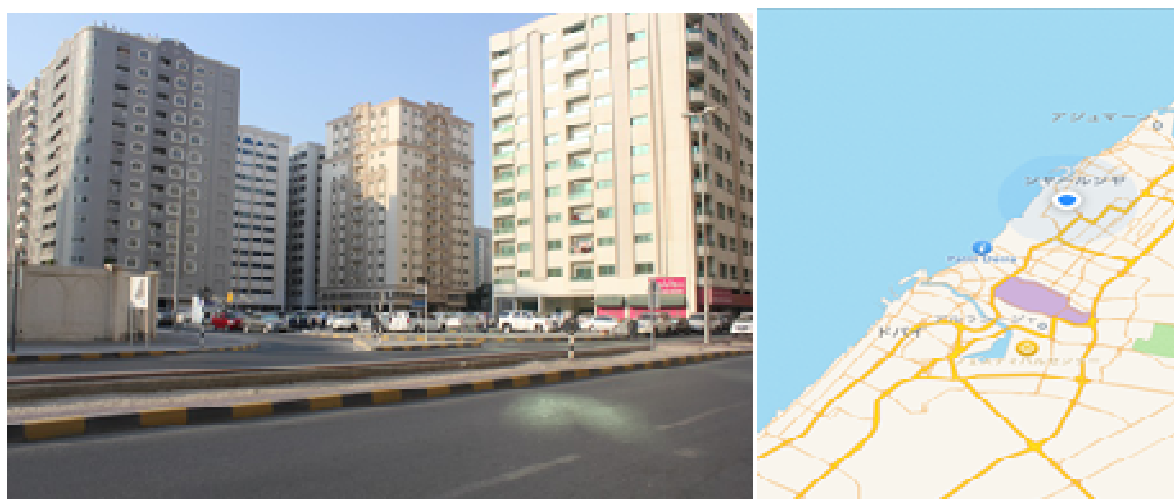
(1)開設までのスケジュール

平成 27 年 7 月をめどに JAPAN HOSPITAL LLC をオープンすることを目標に、次のようなスケジュールを想定している。

図表・20 今後の事業スケジュール



図表・21 建設予定地（現在は駐車場）、ドバイ空港から車で約10分



図表・22 フロー構成案

2,200sqf=666坪（1フロア）、地上8階建て

8階	・VIP病室、VIP診察室、管理室
7階	・病棟25床
6階	・病棟25床
5階	・人間ドック、検査室
4階	・透析センター（30ベッド）、手術室
3階	・外来：内科、整形外科、検査室
2階	・駐車場
1階	・受付、カフェテリア、レストラン、厨房、薬局、薬品管理等
B1階	・検査室（PET放射線）、貯水槽